

ピーリング

文字どおり「剥離」ですね。

レーザーによるピーリング

薬品によるピーリング(ケミカルピーリング)

ごく微小のダイヤモンドによるピーリング

とあります。

どの選択肢を取るかは、やる先生の見識によりますが、肌の再生を促す点では同じです。

その中で、「薬品によるピーリング(ケミカルピーリング)」について、、、

薬品を肌の状態に合わせて、皮膚に塗り皮膚を剥がして(う～ん適当な表現じゃないかも)皮膚の代謝を上げる治療法です。

症状によって、薬品の種類と濃度、塗布時間、剥がす深さを調節します。

現在、日本で広く普及しているのは「グリコール酸」を使ったピーリング。

フルーツから抽出する事で「フルーツ酸」または「AHA」と言います。

AHAの他には、サリチル酸、TCA(トリクロール酢酸)などがあります。

それぞれ、肌の症状に合わせて選択します。

なかでも「AHA」はマイルドな反応で、比較的危険性もなく、ダウンタイムもほとんどありません。

どんな種類の、AHAがあるかと言いますと・・・

グリコール酸・・・サトウキビから抽出

乳酸・・・サワーミルクから

リンゴ酸・・・青りんごから

酒石酸・・・ブドウから

などです。

AHAに代表される「グリコール酸」は、AHAの中でも一番分子量が小さく、浸透度も高く、剥離効果の他に、コラーゲンの増産に役立つと言われていています。

乳酸は、美白効果も兼ね備えています。

リンゴ酸は、剥離効果の他に、皮脂の分解もする事から「ニキビ肌」に最適です。

ただ、これらのピーリングで「しわ」や「しみ」が一気に解消するかと言えば、それはありません。あたかも、ケミカルピーリングをすれば何でも解決するみたいに思われる方がいますが、薬品の性質や、それに合わせた「濃度（PHも含め）」や「塗布時間」によって様々です。

通常、AHAを主体とした「ケミカルピーリング」は、皮膚の表面(表皮)のピーリング効果で、しかも上層部のほんの少しのピーリングです。

人間の肌は、角質層が剥がれると、真皮層で新しい細胞が生まれます。ですから、ピーリングを行う事で、その剥離の深さで新しい細胞の生まれる速度も数も変わって来ます。

又、上記のピーリングはあくまで「マイルド」なピーリングですから、ローリスク＝ローリターンと考えて下さい。

でも、きちんと管理された所で、それなりに行えば、かなりの効果を期待できます。

もっと、大きな期待を望むのであれば

やはり、ダウンタイムも長くなります。

サリチル酸は、AHAに対してBHAと呼び、AHAより深く浸透して深く剥離します。リンゴ酸より、皮脂に対しても親和性が高く、悪化しているニキビには効果的です。しかし、その分、リスクが伴うので「経験」と「実績」が必要です。

さらに、ダウンタイムの長いのが

「TCAピーリング」

真皮層まで浸透するので、表皮部分は全部剥がれます。

シミにもかなりの効果があります。

しかし、濃度にもよりますが、1～2週間は剥離状態が続きます。

いわゆる、ハイリスク＝ハイリターンの治療法です。

ただ、これも「経験」と「実績」で効果の出かたが変わって来ますし、リスクも抑えられます。

かなり「悪性のニキビ」や「アクネスカー（ニキビ痕）」の治療には、かなりの効果を出します。

又、小じわ程度なら、1～2回の治療で解消します。

ご存じの方もお見えになると思いますが、、

ビバリーヒルズにクリニックを構えている「ドクター.オバジ」の行っている

「ブルーピール」に使う、溶剤がTCAです。

TCAは、無色透明の液体で皮膚に塗布する際、どの位の量をどこに塗ったのかが分かりにくく、剥離の範囲が均等になりにくく、時にまばらに「剥離」したりします。

そこで、均一に塗れて、濃度のバラツキもなく肌全体に塗布できるように開発したのが「ブルーピール」です。

文字どおり、「ブルーのお肌」になります。(青色の緩衝材をしいのです)

ただ、仕上がりは綺麗で、まばらに剥がれる事もさほどありません。

唯一の欠点は、顔がゾンビのように青い~^_^;…のです。

一応、塗布後に専用のクレンザーで洗い流しますが、あまり色素は取れません。(苦)

お帰りの際は、「やや青い顔のゾンビ」が道歩く~って感じです ^_^;

でも、お勧めですが…



指に持っている1つは「ブルーピール」の溶剤。

もう1つは、専用のクレンザーです。

ケミカルピーリングは、その種類によって効果の出かたは違いますが、危険性を伴うので、きちんとした施設で行って下さい。